情報公開文書

2018 年 4 月～2021 年 3 月に当院にて

肺がん術後にリハビリテーションを受けた方へ

研究:「COVID-19 パンデミックが肺がん周術期患者の身体機能、ADL の回復に及ぼす影響」の実施について

1. **研究の対象**

2018 年 4 月～2021 年 3 月に当院で肺癌術後にリハビリテーションを受けられた方。

2. **研究目的・方法**

肺がん患者における手術前後の身体機能、ADL、身体活動量を調査し、COVID-19 パンデミックが手術後の回復過程に影響しているのかを検討することによって、リハビリテーションの実施のために有用な方法を検討します。

3. **研究に用いる試料・情報の種類**

情報：カルテ番号、性別、身長、体重、診断名、年齢、入院日、在院日数、肺機能、呼吸状態、ADL、身体機能、運動耐容能、身体活動量、歩行開始日、リハビリテーション内容、リハビリテーション日数、術後合併症、術式等

当院で情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2026 年 1 月 30 日

4. **研究全体の期間と予定症例数**

研究期間は当院実施承認後～2028 年 12 月末、予定症例数は四国がんセンターで 400 例です。

5. **研究結果の公表について**

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。

6. **個人情報の取り扱いについて**

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を使用します。また、研究用の番号とあなたの名前を結びつける対応表を作成し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

7. **研究の資金源、利益相反について**

使用する研究費、利益相反はありません。

8. **お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

情報公開文書様式_2025 年 6 月

情報公開文書

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】国立病院機構　四国がんセンター　リハビリテーション科
【研究責任者】冨永　律子
【相談窓口の連絡先】
〒791-0280　愛媛県松山市南梅本町甲 160
独立行政法人国立病院機構　四国がんセンター
TEL: 089-999-1111（病院代表）

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。

独立行政法人国立病院機構　四国がんセンター
Ver. 1.0　2025 /12/5